

田村市後期計画策定のための市民アンケート調査

集計報告書

平成 26 年 2 月

田 村 市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の実施概要	1
3 報告書の読み方	2
II 調査結果	3
II-1. ご本人(あなた)の暮らしについて.....	3
II-2. 田村市の暮らしについて.....	7
II-3. 各分野の現状評価と今後の取り組みの優先度について	12
II-4. 「市民の幸福度」について.....	30
II-5. 市の将来について	32

I 調査の概要

1 調査の目的

- 本市のまちづくりは、「田村市総合計画」に基づき、長期ビジョンである基本構想（平成 19～33 年度の 15 年間）と、前期基本計画（平成 19～26 年度の 8 年間）に沿って計画的に進めてきました。しかしながら、東日本大震災とそれに続いて発生した福島原子力発電所事故が大きく変えました。
- 本市では、前期基本計画期間が最終年度を迎えることを機に、「震災等復興ビジョン」との調和を図りつつ、基本構想の見直しと後期基本計画を策定するにあたり、まちづくりの現状や重点的な取り組みなどに関する市民の皆さまの幅広いご意見をお聴きし、総合計画に反映することを目的に実施したものです。

2 調査の実施概要

調査対象	15 歳以上の市内在住者
調査期間	平成 25 年 10 月 30 日 ～ 11 月 13 日
調査方法	郵送調査（郵送による配付・回収）
配布数	2,000 人 （性別・年齢・地域比率を考慮した上で無作為抽出）
回収数	691 票（回収率 34.6%）

<配布数・回収数の詳細>

年齢別	10代 20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	不明	合計
配布数（人）	240	400	400	400	400	160	—	2,000
回収数（人）	56	129	119	132	169	80	6	691
回収率（%）	23.3%	32.3%	29.8%	33.0%	42.3%	50.0%	—	34.6%
地域別	滝根	大越	都路	常葉	船引	市外	不明	合計
配布数（人）	250	250	250	250	1,000		—	2,000
回収数（人）	99	73	43	88	360	15	13	691
回収率（%）	39.6%	29.2%	17.2%	35.2%	36.0%	%	—	34.6%

※回収数は無回答を除く

3 報告書の読み方

本報告書を読む際の留意点は次のとおりです。

- 本文及び図表の数字は、原則として回答者の構成比率（百分率）を示しています。
- 図表中の「n」は、「Number of case」の略で、回答者総数（回答者限定設問においては該当者数）を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（回答者限定設問においては該当者数）を100%として算出し、表記はすべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数第1位までを示しています。そのため、各項目比率の合計が100%に合致しない場合、複数項目の比率合計が0.1%の範囲で異なる場合があります。また、複数回答の設問では、各項目比率の合計が100%を超える場合があります。
- 図表中の「0.0」は、回答者が皆無であること、もしくは、四捨五入の結果0.0%未満であることを示しています。
- 回答者総数（回答者限定設問においては該当者数）が少数の場合は統計的誤差が大きい可能性が高いため、数値の取扱いには特に注意が必要です。
- 選択肢の語句が長い場合、本文及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。

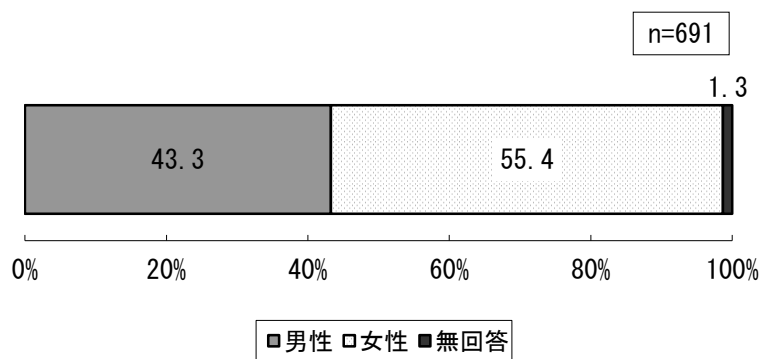
Ⅱ 調査結果

Ⅱ-1. ご本人(あなた)の暮らしについて

- 回答者の属性を把握する設問です。問2以降の設問を世代毎の視点(年齢)、地域別の視点(居住地域)、市内・市外の視点(居住歴)などで分析する際にも活用します。

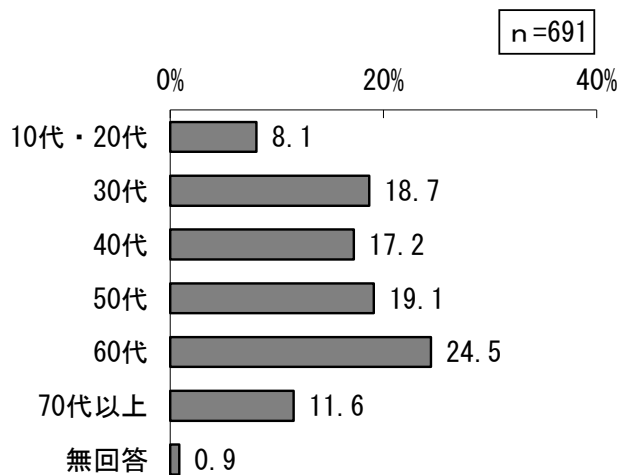
問1 あなたご自身について、項目ごとにお答えください。(項目ごとに1つに○)

(ア) 性別



- 回答者の性別は、「男性」43.3%、「女性」55.4%です。
- この比率は実際の総人口(H26.1.1 現在)の男女比率(男性48%、女性52%)に比べて女性がやや多くなっています。(出典：福島県の推計人口(福島県現住人口調査結果))

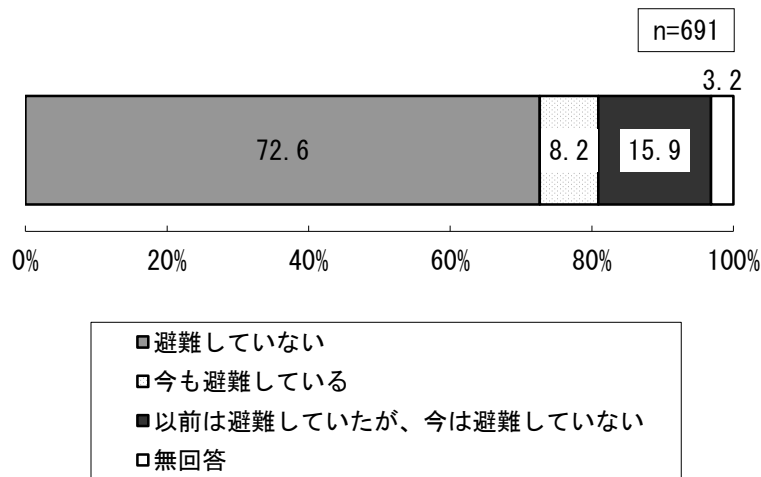
(イ) 年齢



Ⅱ 調査結果

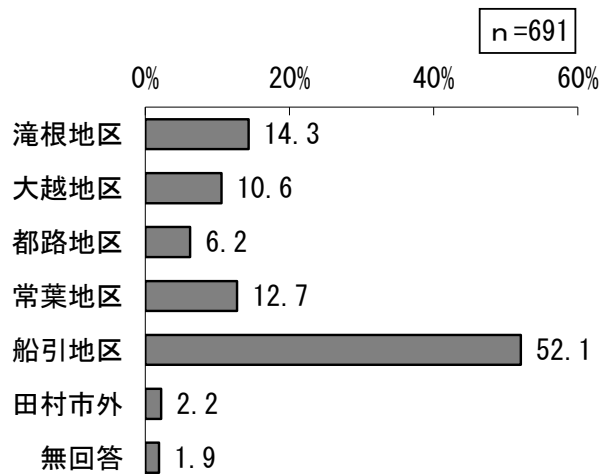
- 回答者の年齢分布は、「30代」から「60代」が中心となっています。
- 実際の年齢分布(H26.1.1 現在)は、15歳～20代(13.4%)、30代(9.4%)、40代(11.0%)、50代(15.3%)、60代(14.7%)、70代以上(24.2%)です。回答者の30代～60代比率が実際の年齢分布に比べて高いことから、今回の調査結果は、まちづくりの中核を担う30代～60代の意向がやや強く反映されていると考えられます。(出典：福島県の推計人口(福島県現住人口調査結果))

(ウ) 避難の有無



- 回答者の避難状況は、「避難していない」72.6%、「今も避難している」8.2%、「以前は避難していたが、今は避難していない」15.9%です。
- 避難の有無別の年齢構成も全体結果と概ね同様です。

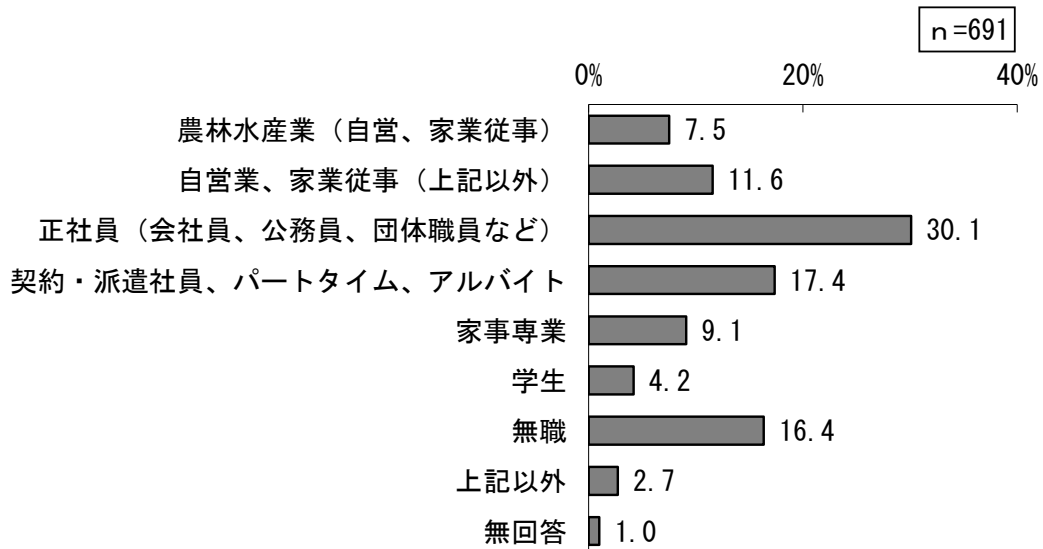
(エ) 居住地区



Ⅱ 調査結果

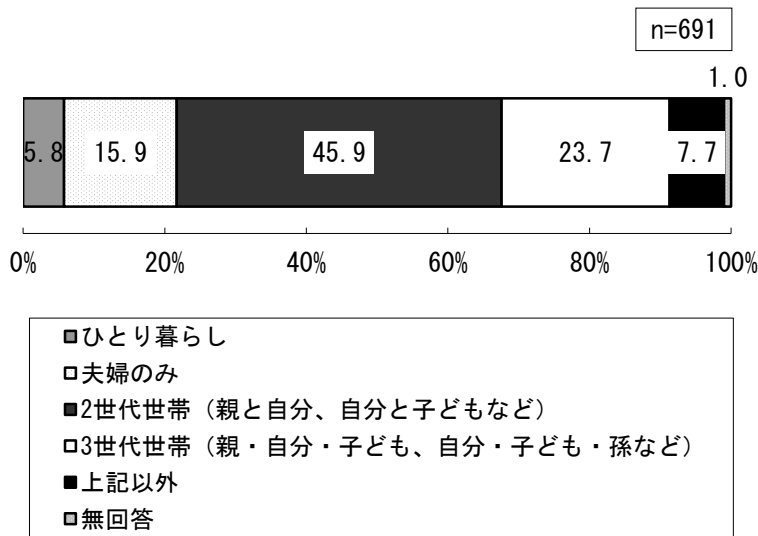
- 回答者の居住地別比率は、人口の最も多い「船引地区」52.1%と半数を占めます。
- 地区別の年齢構成をみると、「都路地区」は60代以上が50%を占め、回答者の年齢層がやや高くなっています。他の地区は30代~60代が20%前後を占め、全体結果と概ね同様です。

(才) 職業



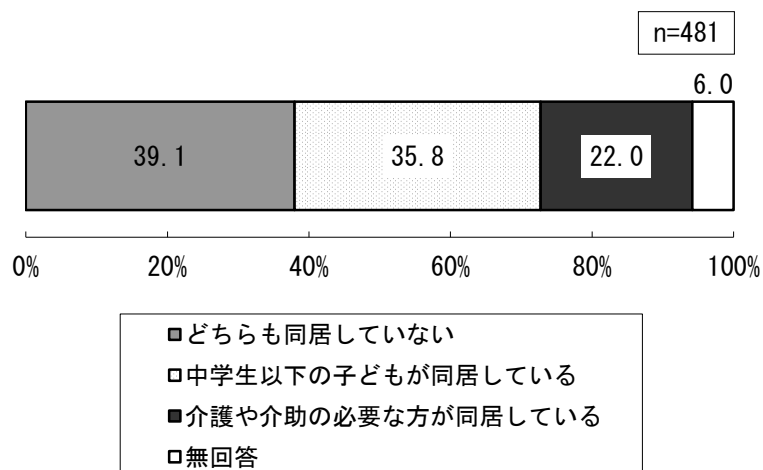
- 回答者の職業別比率は、「正社員（会社員、公務員、団体職員など）」30.1%が最も多く、次いで「契約・派遣社員、パートタイム、アルバイト」「無職」が続きます。
- 職業別の年齢構成は、60代以上が多い「農林水産業」と「無職」、30~70代以上まで幅広い「自営業、家業従事（上記以外）」、30~50代中心の「正社員（会社員、公務員、団体職員など）」、30~60代まで幅広い「契約・派遣社員、パートタイム、アルバイト」、30代と60代が多い「家事専業」、そして全員10代の「学生」となっています。

(カ) 世帯



- 回答者の世帯別比率は、「2 世代世帯（親と自分、自分と子どもなど）」45.9%が最も多くなっています。
- 世帯別の年齢構成は、10～30代と50代以上が多い「ひとり暮らし」、60代以上が8割近くを占める「夫婦のみ」、10～60代まで幅広い「2 世代世帯（親と自分、自分と子どもなど）」「3 世代世帯」となっています。

(キ) 家庭の状況



- 回答者の家庭状況比率は、「（中学生以下の子ども、要介護者の）どちらも同居していない」39.1%、「中学生以下の子どもが同居している」35.8%、「介護や介助の必要な方が同居している」22.0%です。
- 子育て家庭、要介護者のいる家庭、どちらでもない家庭という家庭状況が偏ることなく、バランスよく回答しています。

Ⅱ-2. 田村市の暮らしについて

- 現在の暮らしについての意識を把握する設問です。この結果を施策・事業の方向性の検討に活用するとともに、この結果を現状値として計画の目標や指標の設定などに活用します。

問2 今の暮らしの中で感じていることについて、あなたの考えに近いものを選んでください。
(項目ごとに1つに○)

		合計	思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	思わない	無回答
*網掛けは各項目の第1位 *上段は人数、下段は比率								
ア	今の暮らしは、近隣同士でお互いに支えあって暮らしていると思いますか。	n 691	133	250	151	88	57	12
		% 100.0	19.2	36.2	21.9	12.7	8.2	1.7
イ	高齢者がいきいきと暮らせるまちだと思いますか。	n 691	50	128	257	129	118	9
		% 100.0	7.2	18.5	37.2	18.7	17.1	1.3
ウ	病気や障害があっても、安心して暮らせるまちだと思いますか。	n 691	35	97	233	154	159	13
		% 100.0	5.1	14.0	33.7	22.3	23.0	1.9
エ	田村市には、歴史や伝統が残っていると思いますか。	n 691	103	206	210	92	68	12
		% 100.0	14.9	29.8	30.4	13.3	9.8	1.7
オ	田村市では、祭りや行事などが活発に行われていると思いますか。	n 691	93	245	186	95	64	8
		% 100.0	13.5	35.5	26.9	13.7	9.3	1.2
カ	ご家庭では、災害に対する備えができていますか。(防災用品、家族の連絡方法等)	n 691	56	133	217	178	98	9
		% 100.0	8.1	19.2	31.4	25.8	14.2	1.3
キ	お住まいの周辺は、ひとりで安心して歩くことができると思いますか。	n 691	151	197	157	90	87	9
		% 100.0	21.9	28.5	22.7	13.0	12.6	1.3
ク	行政に対し、必要なときに意見を伝える機会や方法が十分であると思いますか。	n 691	34	97	200	171	178	11
		% 100.0	4.9	14.0	28.9	24.7	25.8	1.6

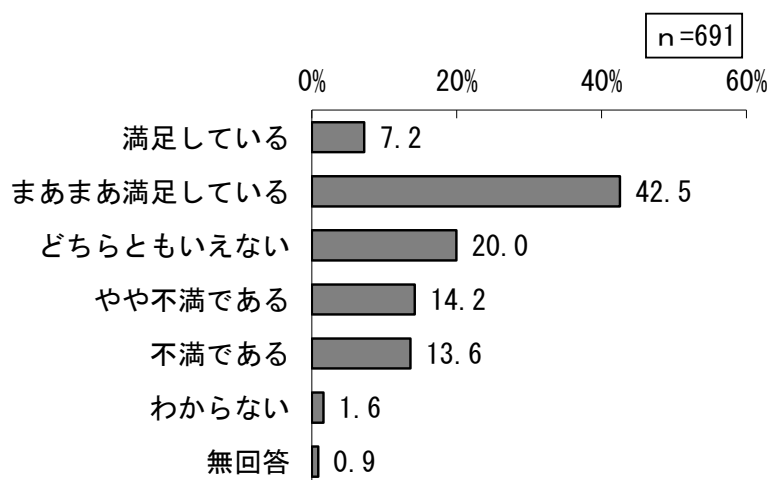
Ⅱ 調査結果

		合計	思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	思わない	無回答
*網掛けは各項目の第1位 *上段は人数、下段は比率								
ケ 田村市は、あなたにとって暮らしやすいまちだと思いますか。	n	691	94	200	207	95	88	7
	%	100.0	13.6	28.9	30.0	13.7	12.7	1.0
コ 現在、ご自身は健康ですか。	n	691	276	226	100	42	41	6
	%	100.0	39.9	32.7	14.5	6.1	5.9	0.9

【集計結果】

- 現在の市全体や地区の姿、市民自身や家庭の姿に関する市民の実感を把握します。
- 全 10 項目中、「思う」または「どちらかといえばそう思う」が最も多い項目は 4 項目、その他の 6 項目は「どちらともいえない」が最も多くなっています。
- 「そう思う+どちらかといえばそう思う」を合計した「実感度」が 50%を超える項目は 3 項目で、「ア 近隣同士でお互いに支えあって暮らしていると思うか」「キ 住まいの周辺は、ひとりで安心して歩くことができると思うか」「コ 現在、ご自身は健康ですか」です。その中でも「コ 現在、ご自身は健康ですか」の「実感度」は 70%を超えています。
- 「思わない+どちらかといえばそう思わない」を合計した「実感しない度」が「実感度」を上回る項目は 4 項目で、「イ 高齢者がいきいきと暮らせるまちだと思うか」「ウ 病気や障害があっても、安心して暮らせるまちだと思うか」「カ 家庭で、災害に対する備えができていると思うか」「ク 行政に対し、必要なときに意見を伝える機会や方法が十分であると思うか」です。
- この中で「ク 行政に対し、必要なときに意見を伝える機会や方法が十分であると思うか」では「実感しない度」が 50%を超えていますが、その他の項目では「実感しない度」が「実感度」を大きく上回るというものではありません。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向です。

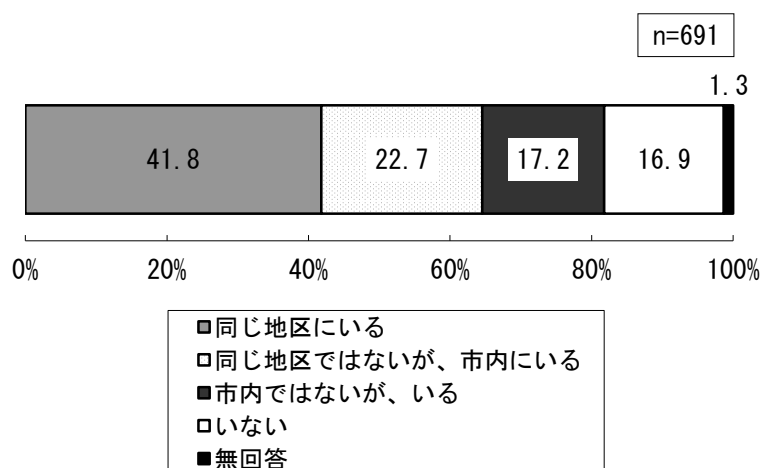
問3 今の暮らし全般について、どのように感じていますか。(1つに○)



【集計結果】

- 現在の暮らしをトータルで捉えた場合の市民の満足度を把握します。
- 今の暮らし全般の満足度について、「まあまあ満足している」42.5%が最も多くなっています。
- 「満足している+まあまあ満足している」を合計した「満足度」は49.8%で、「やや不満である+不満である」を合計した「不満度」27.8%を大きく上回ります。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性では全体結果と概ね同様の傾向ですが、今も避難している方の「不満である」と、都路地区の方の「どちらともいえない」が、他の属性に比べてやや多くなっています。

問4 困ったときに気軽に相談したり、頼りにできる人はいますか。(1つに○)



【集計結果】

- 暮らしの中で身近に支えてくれる人の状況を把握します。
- 気軽に相談したり、頼りにできる人の有無について、「同じ地区にいる」41.8%が最も多くなっています。「同じ地区ではないが、市内にいる」22.7%を合わせると、市内に自分を支えてくれる人のいる割合は6割半ばになります。その一方、「いない」は16.9%です。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性では全体結果と概ね同様の傾向ですが、50代の「いない」が他の属性に比べてやや多くなっています。

Ⅱ 調査結果

問5 今の暮らしの中で感じていることについて、あなたの考えに近いものを選んでください。
(項目ごとに1つに○)

		合計	よく感じる	ときどき感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	無回答
*網掛けは各項目の第1位 *上段は人数、下段は比率								
ア 日常的な医療のことで不安を感じる ときはありますか。	n	691	139	268	89	150	39	6
	%	100.0	20.1	38.8	12.9	21.7	5.6	0.9
イ 人権が守られていないと感じるとき はありますか。	n	691	43	150	222	181	85	10
	%	100.0	6.2	21.7	32.1	26.2	12.3	1.4
ウ 強いストレスを感じるときはありま すか。	n	691	104	245	122	146	67	7
	%	100.0	15.1	35.5	17.7	21.1	9.7	1.0
エ 孤立していると感じるときはありま すか。	n	691	56	119	154	225	130	7
	%	100.0	8.1	17.2	22.3	32.6	18.8	1.0

【集計結果】

- 今の暮らしの中で心配や不安な事項に関する市民の意識を把握します。
- 今の暮らしで感じることについて、「よく感じる+ときどき感じる」を合計した「感じる(問題ある)度」が50%を超える項目は、「ア 日常的な医療」「ウ 強いストレス」の2項目です。
- 「感じない+あまり感じない」を合計した「感じない(問題ない)度」が「感じる(問題ある)度」を上回る項目は、「イ 人権が守られていない」「エ 孤立している」の2項目です。中でも「エ 孤立している」は「実感しない度」が50%を占めています。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性では全体結果と概ね同様の傾向ですが、都路地区、ひとり暮らしの方では「エ 孤立している」の「感じる(問題ある)度」が他の属性に比べてやや多くなっています。

Ⅱ-3. 各分野の現状評価と今後の取り組みの優先度について

○ まちづくりの各分野の取り組みについて、市民からみた現状への評価と今後の優先度を把握する設問です。この結果を各分野の施策や事業の見直しなどに活用します。

問6 都市基盤・生活環境・安全なまちづくりの現状についてどのように感じていますか。
(項目ごとに1つに○)

		合計	満足	まあまあ満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	無回答
*網掛けは各項目の第1位 *上段は人数、下段は比率								
ア	ごみの収集体制、減量・リサイクルの活動	n 691	92	348	152	57	34	8
		% 100.0	13.3	50.4	22.0	8.2	4.9	1.2
イ	上水道、下水道整備、生活雑排水対策	n 691	70	230	247	67	69	8
		% 100.0	10.1	33.3	35.7	9.7	10.0	1.2
ウ	生活道路の整備（舗装、改良）	n 691	50	237	163	133	101	7
		% 100.0	7.2	34.3	23.6	19.2	14.6	1.0
エ	交通環境（電車、路線バス、デマンドタクシー、送迎バス、タクシー等を含む）	n 691	40	160	230	152	102	7
		% 100.0	5.8	23.2	33.3	22.0	14.8	1.0
オ	交通安全施設の整備（信号機、歩道、ガードレール、標識等）	n 691	46	200	205	136	96	8
		% 100.0	6.7	28.9	29.7	19.7	13.9	1.2
カ	水辺に親しむ空間づくりの活動（水質浄化やクリーンアップ活動）	n 691	29	143	330	124	53	12
		% 100.0	4.2	20.7	47.8	17.9	7.7	1.7
キ	公園・緑地の整備・管理	n 691	26	121	270	154	110	10
		% 100.0	3.8	17.5	39.1	22.3	15.9	1.4
ク	高度情報社会の環境整備（携帯電話等の通信環境、インターネット環境）	n 691	38	191	278	97	69	18
		% 100.0	5.5	27.6	40.2	14.0	10.0	2.6
ケ	自然環境の豊かさ	n 691	150	305	158	33	35	10
		% 100.0	21.7	44.1	22.9	4.8	5.1	1.4
コ	地球温暖化防止対策、省エネルギーの取組	n 691	25	92	380	117	63	14
		% 100.0	3.6	13.3	55.0	16.9	9.1	2.0

Ⅱ 調査結果

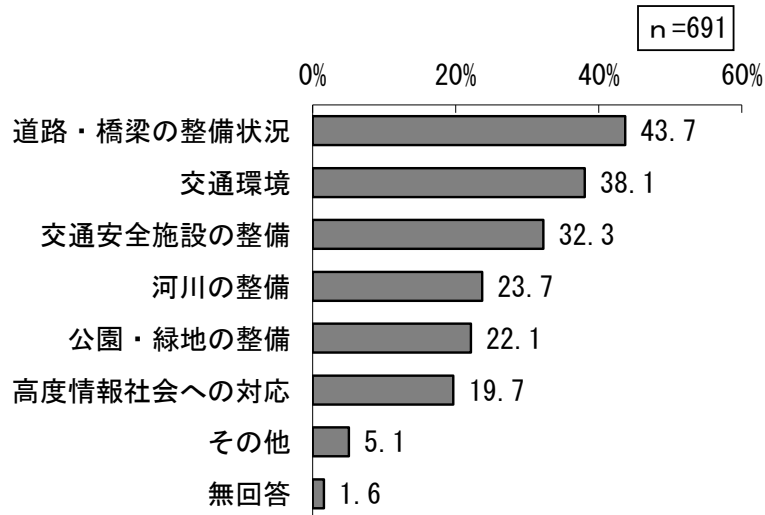
		合計	満足	まあまあ満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	無回答
*網掛けは各項目の第1位 *上段は人数、下段は比率								
サ 悪臭・騒音対策、不当投棄防止対策		691	45	135	286	142	73	10
		100.0	6.5	19.5	41.4	20.5	10.6	1.4
シ 地域の消防・防災・防犯体制・活動		691	83	273	237	60	29	9
		100.0	12.0	39.5	34.3	8.7	4.2	1.3

【集計結果】

- 都市基盤・生活環境・安全なまちづくり分野の取り組みについて市民満足度を把握します。
- 全 12 項目中、「満足している」または「まあまあ満足している」が最も多い項目は 4 項目、その他の 8 項目は「どちらともいえない」が最も多くなっています。
- 「満足している+まあまあ満足している」を合計した『満足度』で見ると、『満足度』が 50%を超える項目は 3 項目で、「ア ごみの収集体制、減量・リサイクルの活動」「ケ 自然環境の豊かさ」「シ 地域の消防・防災・防犯体制・活動」です。
- この中でも「ア ごみの収集体制、減量・リサイクルの活動」と「ケ 自然環境の豊かさ」の『満足度』は 60%を超えています。
- 「どちらかといえば不満+不満」を合計した『不満度』が『満足度』を上回る項目は 5 項目で、「エ 交通環境」「カ 水辺に親しむ空間づくりの活動」「キ 公園・緑地の整備・管理」「コ 地球温暖化防止対策、省エネルギーの取組」「サ 悪臭・騒音対策、不当投棄防止対策」です。ただし、いずれの項目も『不満度』が 50%を上回ることはありません。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性では全体結果と概ね同様の傾向ですが、「エ 交通環境」では、40 代、大越地区、都路地区、学生の方では『不満度』がやや多くなっています。

問7 それぞれの分野で、これから優先的に進めるべき取組は何だと思えますか。

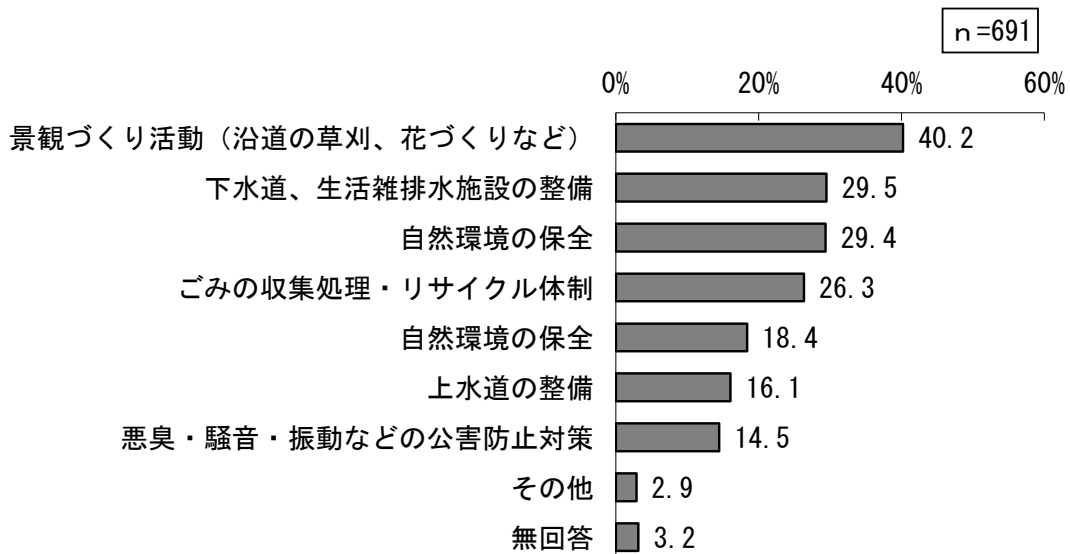
(1) 都市基盤（主なもの2つまでに○）



【集計結果】

- 都市基盤分野の優先的な取り組みへの期待として、「道路・橋梁の整備状況」「交通環境（電車、路線バス、デマンドタクシー、送迎バス、タクシー等を含む）」「交通安全施設の整備（信号、歩道、ガードレール、標識等）」の3項目を上位に挙げています。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向です。

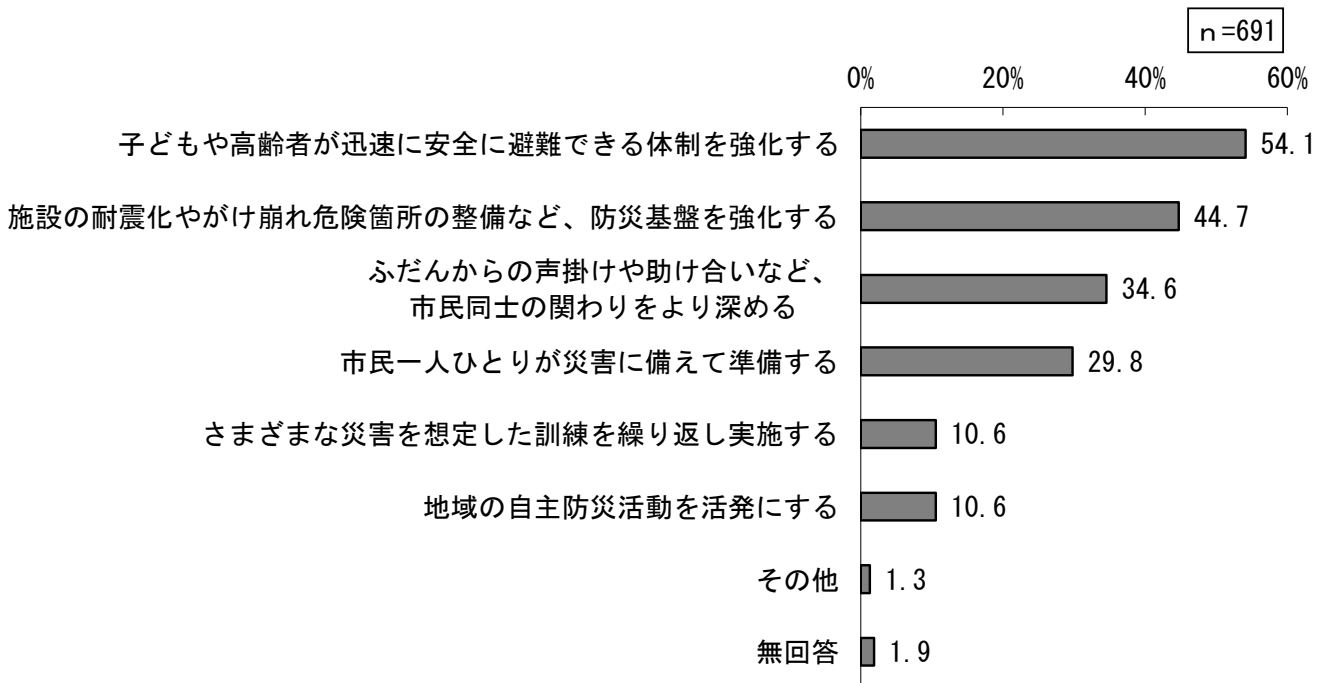
(2) 生活環境（主なもの2つまでに○）



【集計結果】

- 生活環境分野の優先的な取り組みへの期待として、「景観づくり活動（沿道の草刈、花づくりなど）」40.2%が最も多く、次いで「下水道、生活雑排水施設の整備」「自然環境の保全」「ごみの収集処理・リサイクル体制」が続きます。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向ですが、今も避難している方の「ごみの収集処理・リサイクル体制」、ひとり暮らしの方の「自然環境の保全」が他の属性に比べてやや多くなっています。

(3) 安全なまちづくり（主なもの2つまでに○）



【集計結果】

- 安全なまちづくり分野の優先的な取り組みへの期待として、「子どもや高齢者が迅速に安全に避難できる体制を強化する」54.1%最も多く、次いで「施設の耐震化やがけ崩れ危険箇所の整備など、防災基盤を強化する」が続きます。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向ですが、農林水産業の方では「市民一人ひとりが災害に備えて準備する」と「ふだんからの声掛けや助け合いなど、市民同士の関わりをより深める」が他の属性に比べて多くなっています。

II 調査結果

問8 教育・文化・スポーツ・地域づくりの現状についてどのように感じていますか。（項目ごとに1つに○）

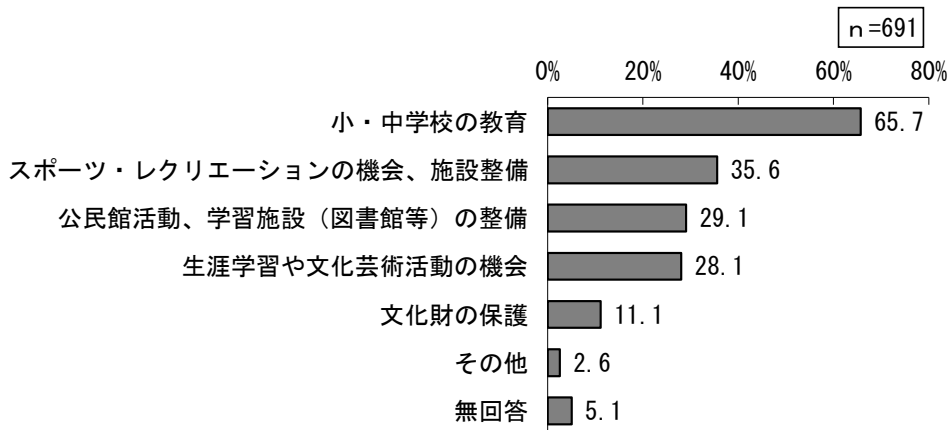
		合計	満足	まあまあ満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	無回答
*網掛けは各項目の第1位 *上段は人数、下段は比率								
ア 小・中学校の教育 （※ご自身やお子さんが市内の学校に通学した方のみ回答）	n	172	10	82	26	16	5	33
	%	100.0	5.8	47.7	15.1	9.3	2.9	19.2
イ 生涯学習や文化芸術活動の機会	n	691	34	193	340	58	16	50
	%	100.0	4.9	27.9	49.2	8.4	2.3	7.2
ウ 公民館活動、学習施設（図書館等）の整備	n	691	41	199	263	91	51	46
	%	100.0	5.9	28.8	38.1	13.2	7.4	6.7
エ スポーツ・レクリエーションの機会、施設整備	n	691	40	168	294	98	46	45
	%	100.0	5.8	24.3	42.5	14.2	6.7	6.5
オ 文化財の保護	n	691	38	168	383	42	17	43
	%	100.0	5.5	24.3	55.4	6.1	2.5	6.2
カ 人権尊重、男女共同参画の状況（偏見や差別の解消、虐待防止等）	n	691	28	150	381	59	23	50
	%	100.0	4.1	21.7	55.1	8.5	3.3	7.2
キ 市民や地域の主体的な活動、各種団体の活動	n	691	26	190	353	59	18	45
	%	100.0	3.8	27.5	51.1	8.5	2.6	6.5
ク 国内・海外の姉妹都市・友好都市との交流	n	691	22	132	411	44	30	52
	%	100.0	3.2	19.1	59.5	6.4	4.3	7.5

【集計結果】

- 教育・文化・スポーツ・地域づくり分野の取り組みについて市民満足度を把握します。
- 全8項目中、「満足している」または「まあまあ満足している」が最も多い項目は1項目、その他の7項目は「どちらともいえない」が最も多くなっています。
- 「満足している+まあまあ満足している」を合計した『満足度』が50%を超える項目は「ア 小・中学校の教育」です。「どちらかといえば不満+不満」を合計した『不満度』が『満足度』を上回る項目はありません。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性では全体結果と概ね同様の傾向です。

問9 それぞれの分野で、これから優先的に進めるべき取組は何だと思えますか。

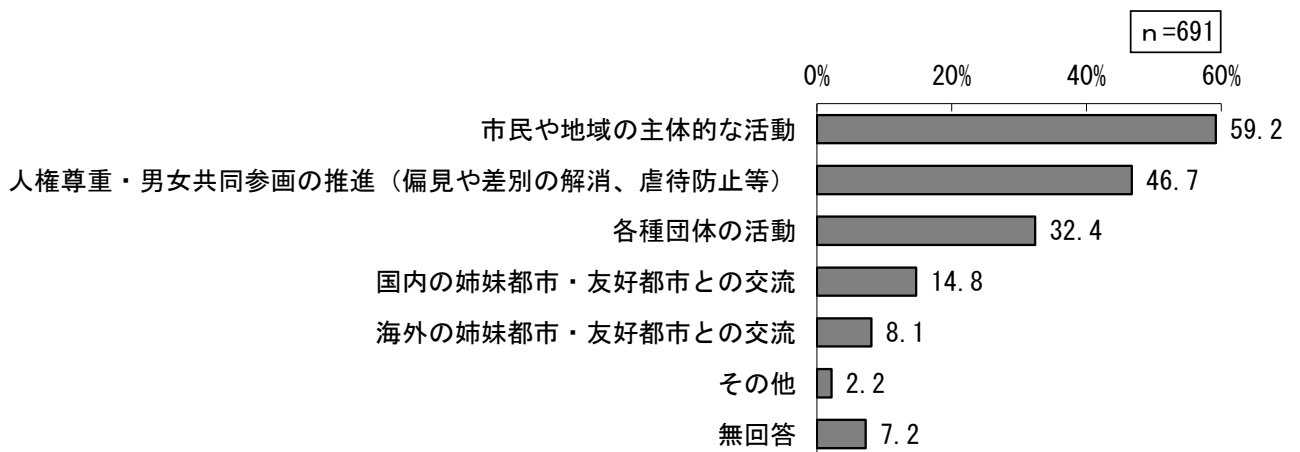
(1) 教育・文化・スポーツ環境（主なもの2つまでに○）



【集計結果】

- 教育・文化・スポーツ分野の優先的な取り組みへの期待として、「小・中学校の教育」65.7%が最も多く、他を大きく上回っています。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向です。

(2) 地域づくり（主なもの2つまでに○）



【集計結果】

- 地域づくり分野の優先的な取り組みへの期待として、「市民や地域の主体的な活動」59.2%が最も多く、次いで「人権尊重・男女共同参画の推進（偏見や差別の解消、虐待防止等）」が続きます。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向です。

Ⅱ 調査結果

問10 保健・医療・福祉の現状についてどのように感じていますか。(項目ごとに1つに○)

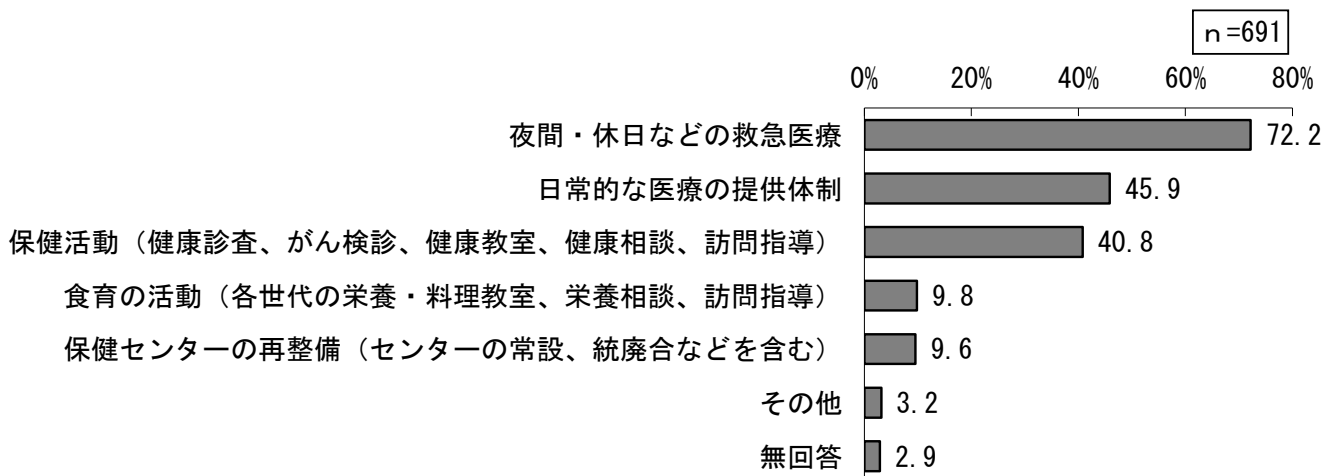
		合計	満足	まあまあ満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	無回答
*網掛けは各項目の第1位 *上段は人数、下段は比率								
ア 保健活動（健康診査、がん検診、健康教室、健康相談、訪問指導）	n	691	105	346	173	35	16	16
	%	100.0	15.2	50.1	25.0	5.1	2.3	2.3
イ 食育の活動（各世代の栄養・料理教室、栄養相談、訪問指導）	n	691	39	163	382	57	21	29
	%	100.0	5.6	23.6	55.3	8.2	3.0	4.2
ウ 日常的な医療の提供体制	n	691	35	176	271	128	57	24
	%	100.0	5.1	25.5	39.2	18.5	8.2	3.5
エ 夜間・休日などの救急医療	n	691	19	92	184	196	180	20
	%	100.0	2.7	13.3	26.6	28.4	26.0	2.9
オ 子育てへの支援（保育、学童保育、相談、情報提供など）	n	691	32	156	331	92	44	36
	%	100.0	4.6	22.6	47.9	13.3	6.4	5.2
カ 高齢者への福祉・介護・支援	n	691	37	168.0	293	118	56	19
	%	100.0	5.4	24.3	42.4	17.1	8.1	2.7
キ 障害者への福祉・支援	n	691	29	138.0	357	92	48	27
	%	100.0	4.2	20.0	51.7	13.3	6.9	3.9
ク ひとり親家庭への福祉・支援	n	691	28	96.0	406	80	50	31
	%	100.0	4.1	13.9	58.8	11.6	7.2	4.5

【集計結果】

- 保健・医療・福祉分野の取り組みについて市民満足度を把握します。
- 全8項目中、「満足している」または「まあまあ満足している」が最も多い項目は「ア 保健活動」、「どちらかといえば不満」または「不満」が最も多い項目は「エ 夜間・休日などの救急医療」、その他の6項目は「どちらともいえない」が最も多くなっています。
- 「満足している+まあまあ満足している」を合計した『満足度』が高い項目は「ア 保健活動」で、『満足度』は60%を超えています。
- 「どちらかといえば不満+不満」を合計した『不満度』が『満足度』を上回る項目は「エ 夜間・休日などの救急医療」で、『不満度』が50%を超えています。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性では全体結果と概ね同様の傾向ですが、「オ 子育てへの支援」では、30代の『不満度』が他の属性に比べてやや多くなっています。

問11 それぞれの分野で、これから優先的に進めるべき取組は何だと思えますか。

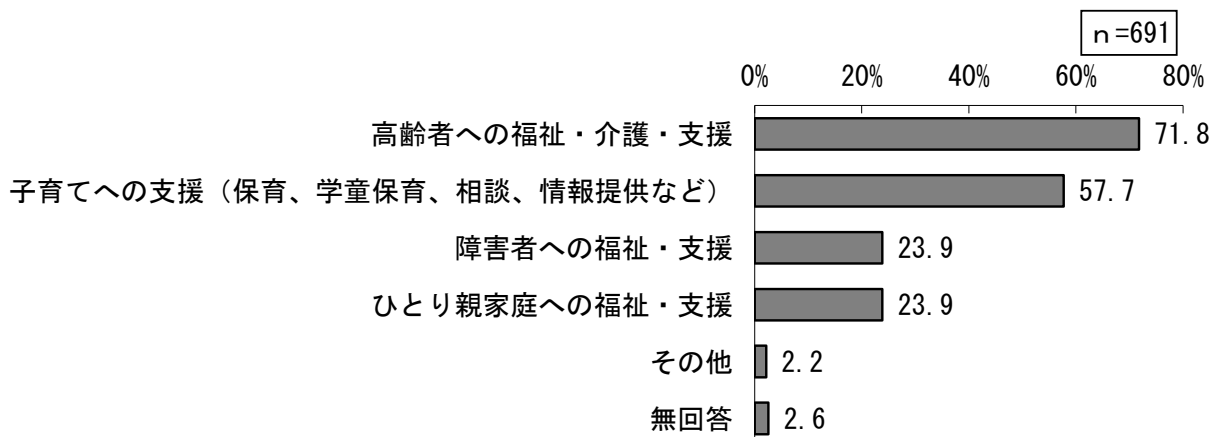
(1) 保健・医療（主なもの2つまでに○）



【集計結果】

- 保健・医療分野の優先的な取り組みへの期待として、「夜間・休日などの救急医療」72.2%が最も多く、他を大きく上回っています。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向ですが、70代以上と都路地区の方では「保健活動」と「夜間・休日などの救急医療」が他の属性に比べてやや多くなっています。

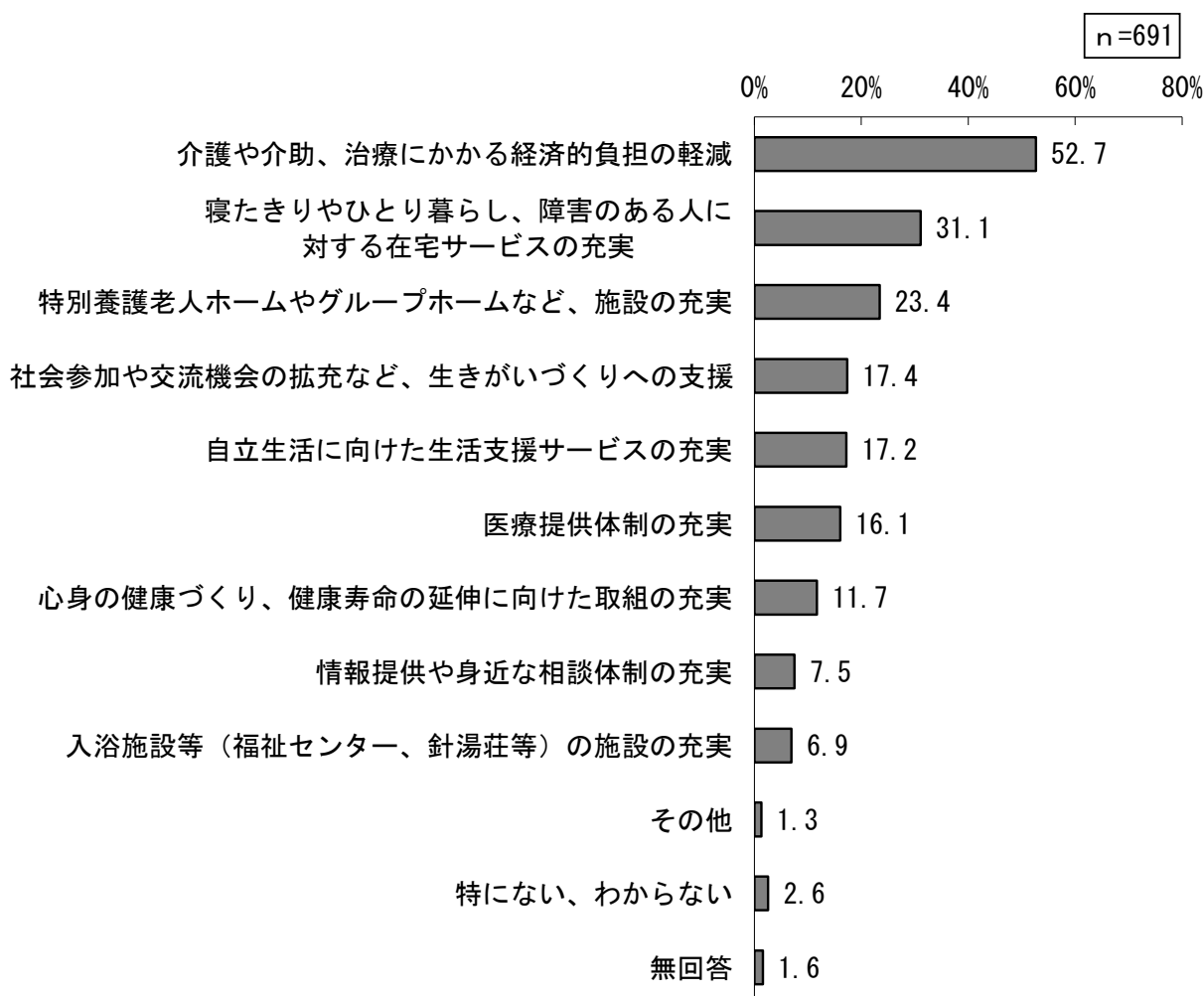
(2) 福祉（主なもの2つまでに○）



【集計結果】

- 福祉分野の優先的な取り組みへの期待として、「高齢者への福祉・介護・支援」71.8%が最も多く、次いで「子育てへの支援（保育、学童保育、相談、情報提供など）」が続きます。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向ですが、30代では「子育てへの支援」への期待が80%を超えています。

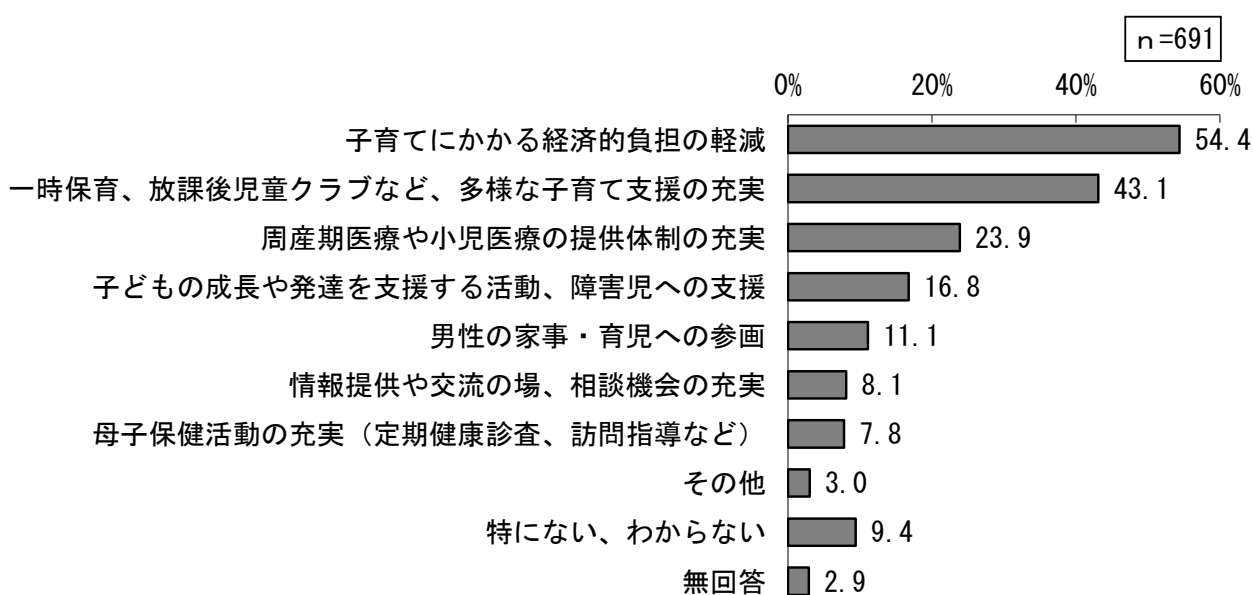
問12 高齢社会への対応として特に重要と考えることは何ですか。(主なもの2つまでに○)



【集計結果】

- 高齢社会で特に重要な取り組みへの期待として、「介護や介助、治療にかかる経済的負担の軽減」52.7%が最も多く、次いで「寝たきりやひとり暮らし、障害のある人に対する在宅サービスの充実」「特別養護老人ホームやグループホームなど、施設の充実」が続きます。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向です。

問13 少子化対策として、特に重要と考えることは何ですか。（主なもの2つまでに○）



【集計結果】

- 少子化対策で特に重要な取り組みへの期待として、「子育てにかかる経済的負担の軽減」54.4%が最も多く、次いで「一時保育、放課後児童クラブなど、多様な子育て支援の充実」が続きます。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向です。

Ⅱ 調査結果

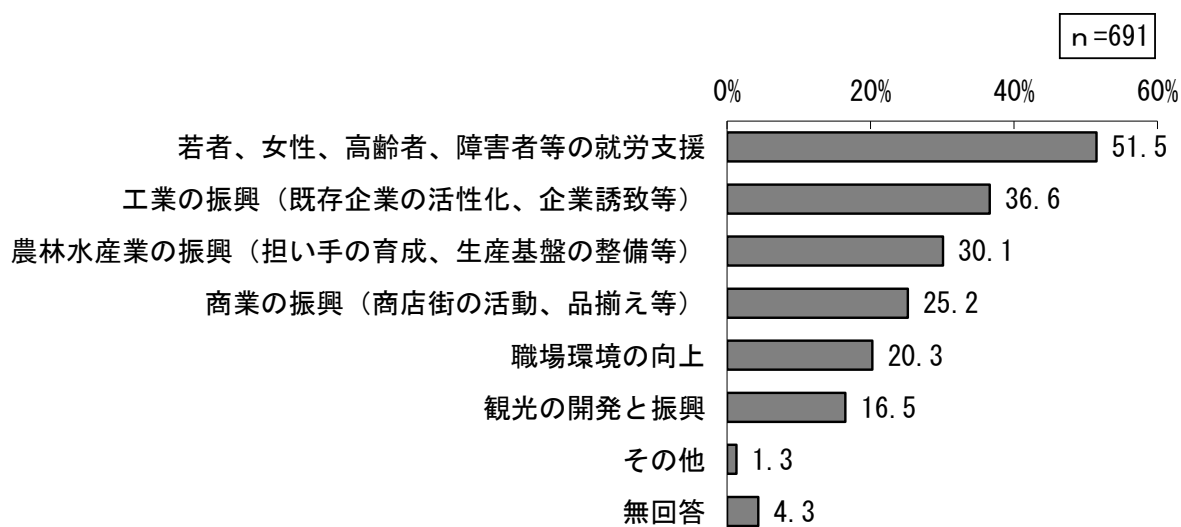
問14 産業振興の現状についてどのように感じていますか。（項目ごとに1つに○）

		合計	満足	まあまあ満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	無回答
*網掛けは各項目の第1位 *上段は人数、下段は比率								
ア 農林水産業の振興 （担い手の育成、生産基盤の整備等）	n	691	5	52	359	157	63	55
	%	100.0	0.7	7.5	52.0	22.7	9.1	8.0
イ 工業の振興 （既存企業の活性化、企業誘致等）	n	691	12	65	297	174	85	58
	%	100.0	1.7	9.4	43.0	25.2	12.3	8.4
ウ 商業の振興 （商店街の活動、品揃え等）	n	691	9	70	218	216	122	56
	%	100.0	1.3	10.1	31.5	31.3	17.7	8.1
エ 観光の開発と振興	n	691	8	58	288	175	101	61
	%	100.0	1.2	8.4	41.7	25.3	14.6	8.8
オ 就労への支援	n	691	4	34	268	190	151	44
	%	100.0	0.6	4.9	38.8	27.5	21.9	6.4

【集計結果】

- 産業振興分野の取り組みについて市民満足度を把握します。
- 全5項目で「どちらともいえない」が最も多くなっています。
- 「満足している+まあまあ満足している」を合計した『満足度』が50%を超える項目はありません。
- 「どちらかといえば不満+不満」を合計した『不満度』が『満足度』を上回る項目は全5項目すべてです。その中でも「ウ 商業の振興（商店街の活動、品揃え等）」と「オ 就労への支援」の『不満度』が50%近くに上ります。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性では全体結果と概ね同様の傾向ですが、属性によって以下の結果もみられます。
- 農林水産業の方では「ア 農林水産業の振興」の『不満度』が、自営業・家業従事、大越地区、都路地区の方では「ウ 商業の振興（商店街の活動、品揃え等）」の『不満度』が、そして、50代の方では「オ 就労への支援」の『不満度』が、それぞれ他の属性に比べて多くなっています。

問15 産業振興分野で、これから優先的に進めるべき取組は何だと思えますか。（主なものの2つまでに○）

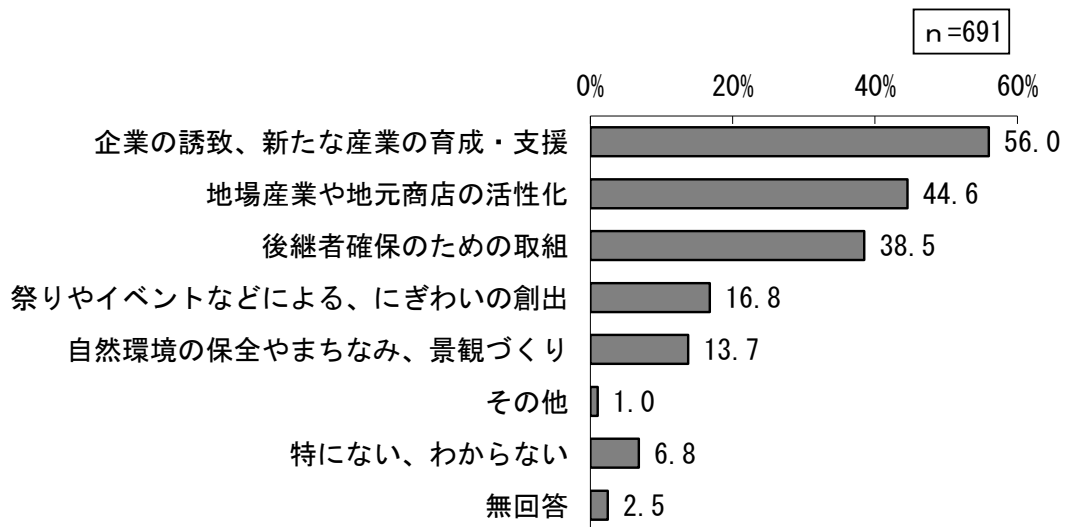


【集計結果】

- 産業振興分野の優先的な取り組みへの期待として、「若者、女性、高齢者、障害者等の就労支援」51.5%が最も多く、次いで「工業の振興（既存企業の活性化、企業誘致等）」「農林水産業の振興（担い手の育成、生産基盤の整備等）」が続きます。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向ですが、農林水産業、夫婦のみの方では「農林水産業の振興（担い手の育成、生産基盤の整備等）」、学生の方では「商業の振興（商店街の活動、品揃え等）」が、それぞれ他の属性に比べて多くなっています。

Ⅱ 調査結果

問16 産業の振興に向けて、特に重要と考えることは何ですか。（主なもの2つまでに○）



【集計結果】

- 産業振興に重要な取り組みへの期待として、「企業の誘致、新たな産業の育成・支援」56.0%が最も多く、次いで「地場産業や地元商店の活性化」「後継者確保のための取組」が続きます。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向ですが、学生の方では「後継者確保のための取組」が最も多くなっています。

Ⅱ 調査結果

問17 市民活動・行財政の現状についてどのように感じていますか。(項目ごとに1つに○)

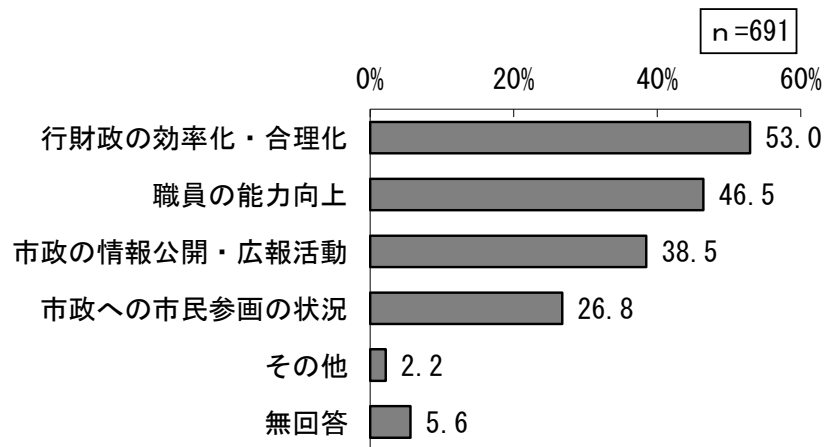
		合計	満足	まあまあ満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	無回答
*網掛けは各項目の第1位 *上段は人数、下段は比率								
ア 市政の情報公開・広報活動	n	691	34	233	283	60	47	34
	%	100.0	4.9	33.7	41.0	8.7	6.8	4.9
イ 市政への市民参画の状況	n	691	14	103	374	108	45	47
	%	100.0	2.0	14.9	54.1	15.6	6.5	6.8
ウ 職員の対応	n	691	42	186	259	98	76	30
	%	100.0	6.1	26.9	37.5	14.2	11.0	4.3
エ 行財政の効率化・合理化	n	691	14	97	346	122	69	43
	%	100.0	2.0	14.0	50.1	17.7	10.0	6.2

【集計結果】

- 市民活動・行財政分野の取り組みについて市民満足度を把握します。
- 全4項目すべてで「どちらともいえない」が最も多くなっています。
- 「満足している+まあまあ満足している」を合計した『満足度』が50%を超える項目はありません。
- 「どちらかといえば不満+不満」を合計した『不満度』が『満足度』を上回る項目は「イ 市政への市民参画の状況」「エ 行財政の効率化・合理化」です。ただし、いずれの項目も『不満度』が50%を上回ることはありません。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性では全体結果と概ね同様の傾向です。

Ⅱ 調査結果

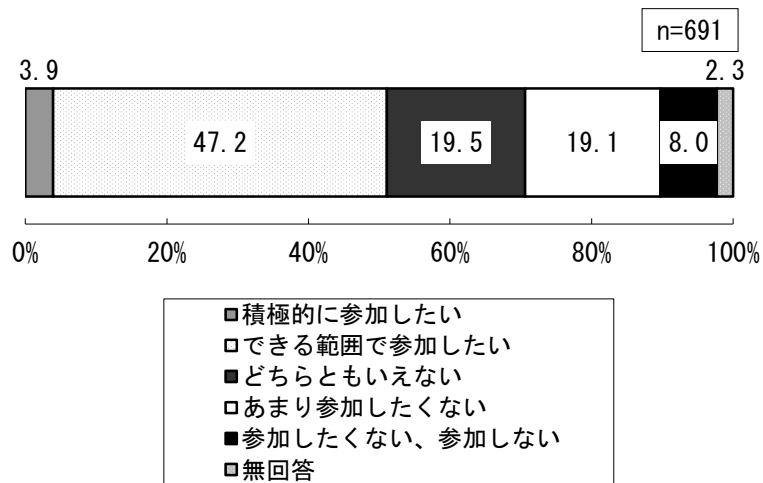
問18 市民活動・行財政分野で、これから優先的に進めるべき取組は何だと思えますか。
(主なものを2つまでに○)



【集計結果】

- 市民活動・行財政分野の優先的な取り組みへの期待として、「行財政の効率化・合理化」53.0%が最も多く、「職員の能力向上」「市政の情報公開・広報活動」が続きます。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向ですが、滝根地区の方では「職員の能力向上」が、ひとり暮らしの方では「市政の情報公開・広報活動」が、それぞれ他の属性に比べて多くなっています。

問19 あなたは、地域活動やボランティアなどに参加したいですか。（1つに○）



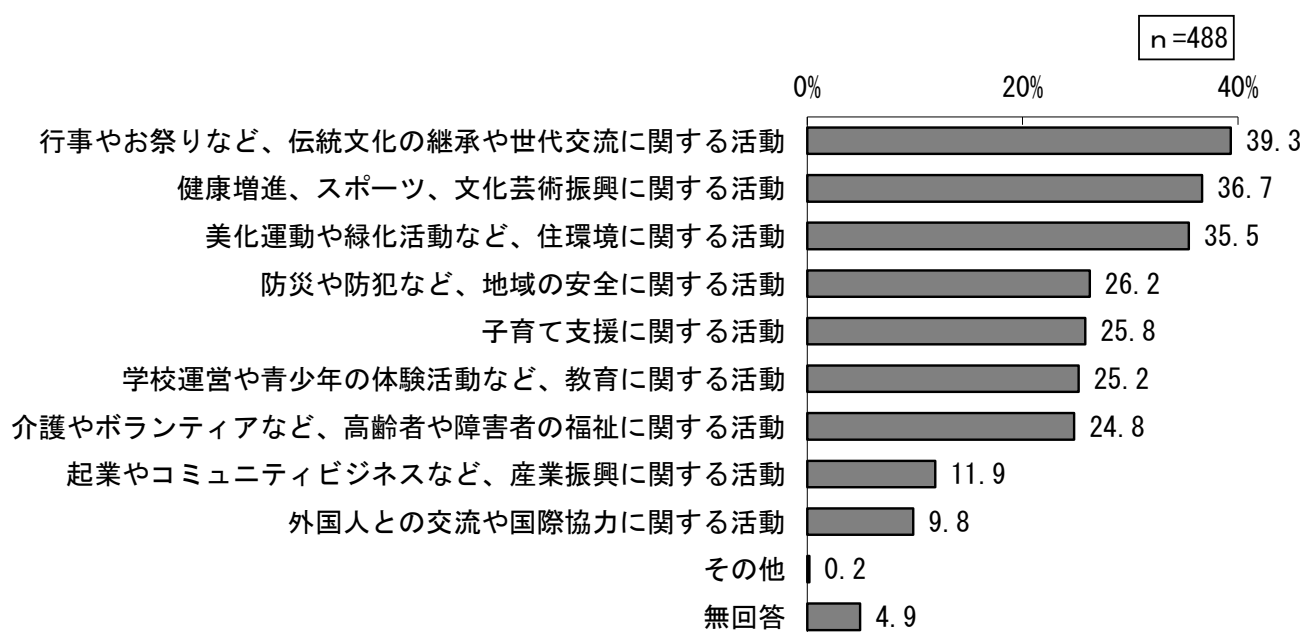
【集計結果】

- 地域活動やボランティアなどへの参加意欲について、「できる範囲で参加したい」47.2%が最も多くなっています。
- 「積極的に参加したい+できる範囲で参加したい」を合計した『参加派』は51.1%、「あまり参加したくない+参加したくない、参加しない」を合計した『不参加派』は27.1%です。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向ですが、学生と自営業・家事従事の方では『参加派』が60%を超えています。

Ⅱ 調査結果

問 19 付問 「1～3。」に○をつけた方のみお答えください。

活動をする場合、どのような活動をしたいですか。（あてはまるものすべてに○）

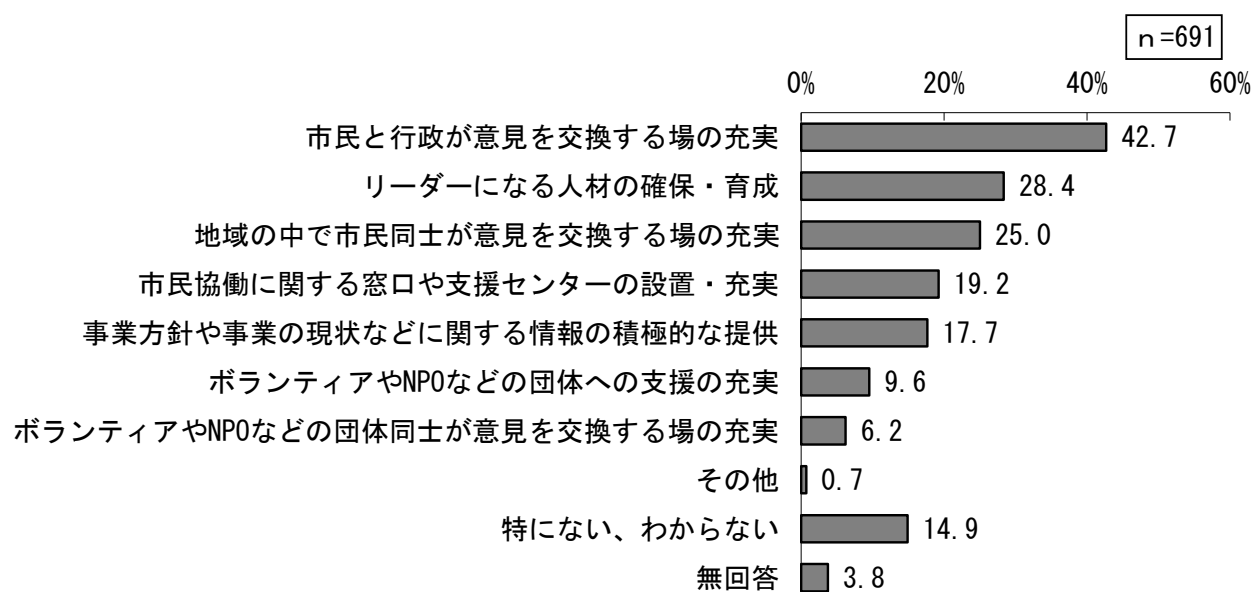


【集計結果】

- 地域活動やボランティアの優先的な取り組みへの期待として、「行事やお祭りなど、伝統文化の継承や世代交流に関する活動」「健康増進、スポーツ、文化芸術振興に関する活動」「美化運動や緑化活動など、住環境に関する活動」の3項目を上位に挙げています。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向ですが、10代・20代の方では「行事やお祭りなど、伝統文化の継承や世代交流に関する活動」と「学校運営や青少年の体験活動など、教育に関する活動」が、30代の方では「子育て支援に関する活動」が他の属性に比べて多くなっています。

Ⅱ 調査結果

問20 市で協働のまちづくりを進めるために重要な取組は何だと思えますか。（主なもの2つまでに○）



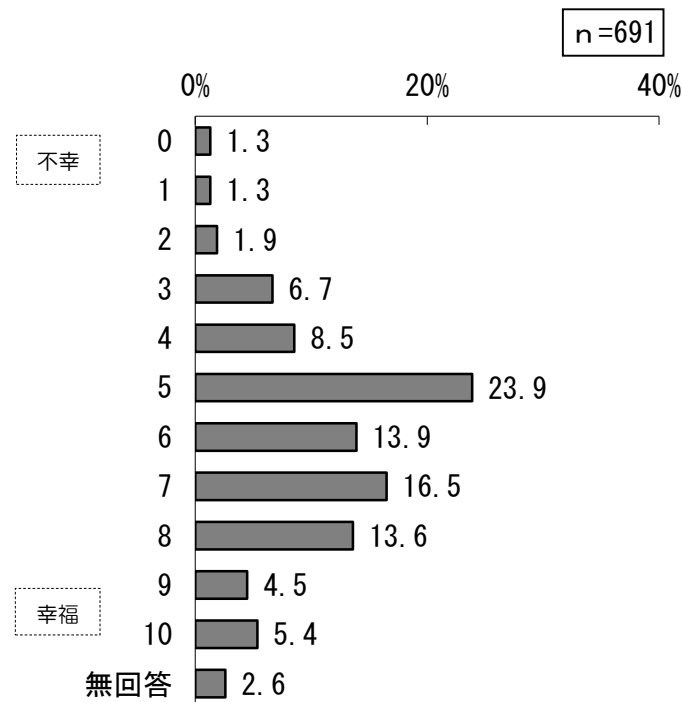
【集計結果】

- 協働のまちづくりに重要な取り組みへの期待として、「市民と行政が意見を交換する場の充実」42.7%が最も多く、次いで「リーダーになる人材の確保・育成」「地域の中で市民同士が意見を交換する場の充実」が続きます。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向ですが、大越地区の方では「リーダーになる人材の確保・育成」が最も多くなっています。

Ⅱ-4. 「市民の幸福度」について

- 「市民の幸せ感」という新しい視点からまちづくりを検討するための設問です。この結果を踏まえて、計画の目標や指標の設定などに活用します。

問21 現在、あなたの幸せの程度は何点ぐらいになりますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、いずれかの数字1つに○を付けてください。



【集計結果】

- 幸福度の点数分布（点数の高い方が幸福度も高い、点数の低い方が幸福度も低い。中間は5点）をみると5点23.9%が最も多く、次いで6～8点が多くなっています。
- 市民幸福度の平均点は5.96点になり、中間点よりやや高い（幸福）という結果です。

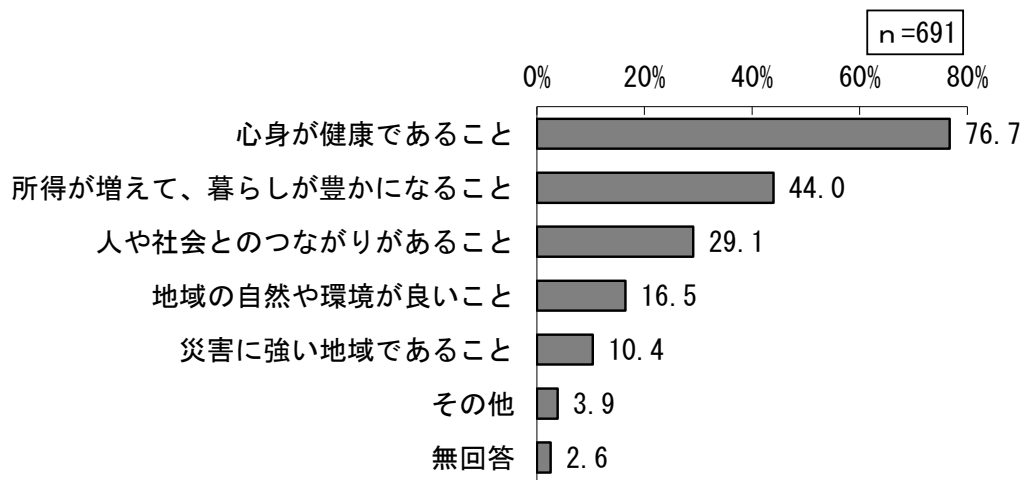
（参考）「幸福度に関する研究会報告—幸福度指標試案—」概要版の「はじめ」より

「幸福度指標」とは、幸福度を具体的に見えるように各種指標で表したものである。（中略）
 「幸福度指標」作成の意味があるとすれば、「幸せ」に光を当てることによって、これまで政策などにおいて焦点化されてこなかった「個々人がどういう気持ちで暮らしているのか」に着目することにある。

より具体的には、①日本における幸福度の原因・要因を探り、国、社会、地域が人々の幸福度を支えるにあたり良い点、悪い点、改善した点、悪化した点は何かを明らかにすること、
 ②自分の幸せだけでなく、社会全体の幸せを深めていくためには、国、社会、地域が何処を目指そうとしているか、実際に目指していくのかを議論し、考えを深めることが不可欠であり、その際の手がかりを提供すること、の2つの点にあると考えられる。（以下、省略）

（平成23年12月内閣府経済社会総合研究所）

問22 あなたの幸福感に大きな影響を及ぼす項目は何ですか。（主なもの2つまでに○）



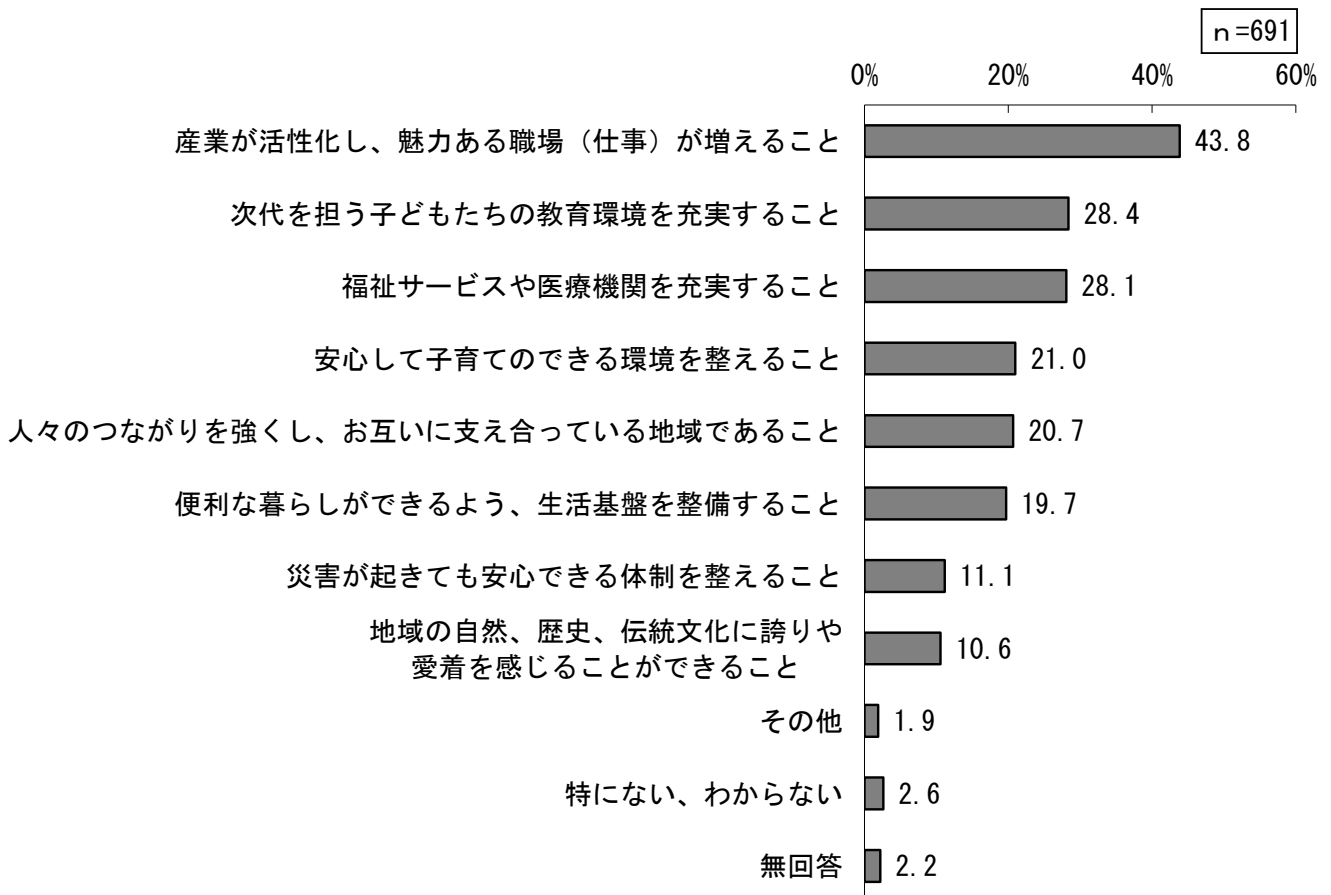
【集計結果】

- 市民の幸福感に大きな影響を及ぼす項目について、「心身が健康であること」76.7%が最も多く、他を大きく上回っています。次いで「所得が増えて、暮らしが豊かになること」が続きます。
- 属性別クロス集計結果をみると、すべての属性で「心身が健康であること」を第1位に挙げています。また、10代・20代、家事専業、学生の方では「人や社会とのつながりがあること」、30～40代、正社員の方では「所得が増えて、暮らしが豊かになること」が他の属性に比べてやや多くなっています。

Ⅱ-5. 市の将来について

- これからのまちづくりに市民が期待することを把握する設問です。この結果を踏まえて、将来像や重点分野の検討などに活用します。

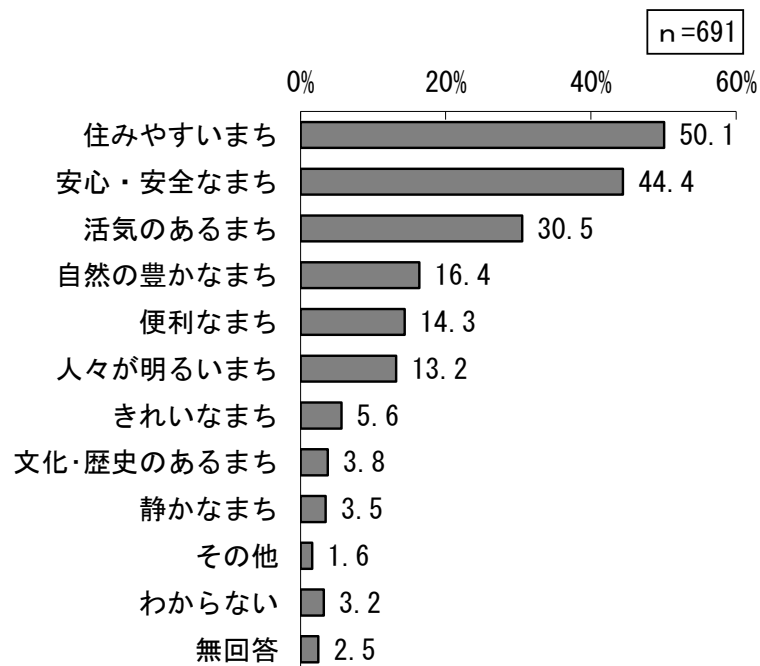
問23 より良いまちにするために、特に重要な取組と考えるものは何ですか。（主なもの2つまでに○）



【集計結果】

- まちづくり全体の中での重要な取り組みへの期待として、「産業が活性化し、魅力ある職場（仕事）が増えること」43.8%が最も多く、次いで「次代を担う子どもたちの教育環境を充実すること」「福祉サービスや医療機関を充実すること」が続きます。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向ですが、学生の方では「地域の自然、歴史、伝統文化に誇りや愛着を感じることができること」が他の属性に比べてやや多くなっています。

問24 これからの田村市に期待するイメージはどのようなまちですか。（主なもの2つまでに○）



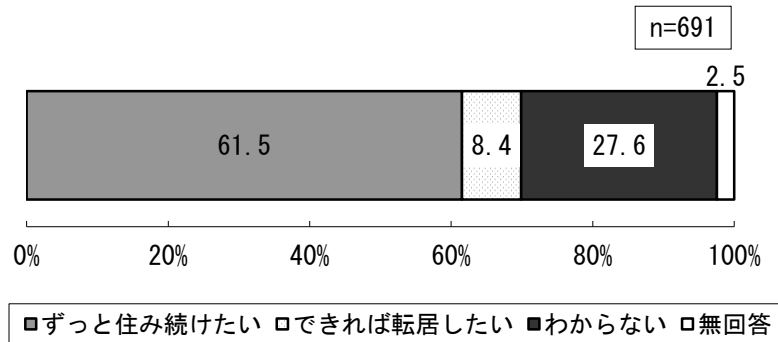
【集計結果】

- 田村市に期待するイメージ（将来像）について、「住みやすいまち」と「安心・安全なまち」の2項目を上位に挙げています。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向ですが、70代以上の方では「安心・安全なまち」を第1位に挙げています。滝根地区の方では「活気のあるまち」が他の属性に比べてやや多くなっています。

問25 7年後の発展した市の姿を表現するとしたら、どのような標語やキャッチフレーズが考えられますか。ぜひ、ご提案ください。

- 市民が期待する将来イメージを端的に表現する標語やキャッチフレーズについて、190件を超えるご提案頂きました。その中で比較的多く用いられている言葉（キーワード）は次の通りです。
 - ◎豊かな自然、緑あふれる
 - ◎安心、安全
 - ◎笑顔、活気、いきいき
 - ◎住みよい、住みたいまち
 - ◎心豊か、子どもたち
 - ◎明るい、未来

問26 これからも田村市に住んでいたいと思いますか。(1つに○)



【集計結果】

- 田村市での定住希望について、「ずっと住みたい」61.5%が最も多く、「できれば転居したい」「わからない」を大きく上回っています。
- 属性別クロス集計結果をみると、多くの属性で全体結果と概ね同様の傾向ですが、10代・20代、30代の方では「わからない」が他の属性に比べてやや多くなっています。学生の方では「わからない」が最も多くなっています。

問27 これからのまちづくりに向けて、ご意見・ご提案をお聴かせください。（自由記入）

- 様々な視点からの自由な意見・提案をまちづくりの各分野の施策・事業に活かすための設問です。
- それぞれの分野に約 100～190 件のご意見・ご提案を頂きました。

分野	主な意見（◎は特に多い意見）
生活環境 道路交通基盤	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 生活道路の改良（狭隘の解消、拡張） ◎ 通学路の安全確保（歩道、ガードレール設置） ◎ 市内・各地区の交通網強化（高齢者の買い物対策含む） ● 幹線道路、バイパスの早期整備 ● 街灯の増設
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 企業誘致、工業団地への誘致 ◎ 若者の働く場、職場・仕事の確保 ● 農業振興 ● 後継者の確保
保健・福祉・ 医療	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合病院の設置、診療科目（産婦人科など）の充実 ◎ 夜間・休日の救急医療 ● 高齢者の孤立化防止、高齢者の生活支援 ● 子育て支援の充実 ● 医療費負担の軽減
教育・スポー ツ・文化	<ul style="list-style-type: none"> ◎ スポーツの振興、スポーツ・運動施設の充実 ● 学校教育の充実 ● 図書館の充実 ● 市内外の交流促進
地域振興 行財政	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 復興の推進 ● 駅前、商店街、地元商店の活性化、人が集まるイベントの開催 ● 健全な財政運営（合理化、身の丈に応じた財政） ● 市職員（行政局を含む）の能力向上
上記以外	（復興、除染、原発への意見をはじめ、様々な分野に関する具体的な意見・提案）